



コミバス運行 三つのキーワードからどう捉える？

伊田 雅彦 議員 《新政いさま》

行政が市民生活の利便性向上を図るための施策や事業を行うに当たり、そこに費用対効果が求められることは当然のことと考えます。

しかしながらコミユニティバスの運行ルートは、それが線引きとは言えないかもしれませんが、地図上にあらわすと残念ながら線引きのようにはつきり出てしまっています。決して広くない市域の中で、それを「地域格差」と捉えてしまう市民の方々もいらっしゃると思います。

「市民生活の利便性向上」「費用対効果」「地域格差」この3つの言葉をキーワードとして、当局はコミユニティ

バスの運行についてどのように捉えているのか、お伺いします。

都市部長 3つのキーワードは、見直しの検討として重要な論点になるものと捉えています。

本格運行の利用状況を見ると、現時点では、東部地域のルートとそれ以外のルートでは大きな開きがあります。

量と質が異なるものと同じ形式で運行することが妥当なのか、3つのキーワードで分析した場合どうなのかという検討も必要になると思います。

議員ご指摘の視点を踏まえて見直しを検討させていただきたいと考えています。

広報戦略策定で攻めの広報を！

荻原 健司 議員 《新政いさま》

座間市に住みたい、そう思われる魅力あるまちづくりのため、本市の魅力をブランドイメージとして確立すべきで、そのためには、本市の魅力、政策、施策を広く発信する広報力が重要だと考えます。

本市の情報を発信する広報ざまや市ホームページ等について、基本的な戦略やガイドラインを定められているのか伺います。

企画財政部長 戦略を定めたガイドラインは、今のところ持ち合わせておりません。

【再質問】一方的に伝えるのではなく、受け手側の立場を考えた、それぞれのターゲットに向けた市の情報を発信して

いき、相互理解を深めるような「伝える広報」が大切です。

広報戦略を策定することで全職員が市をPRするという広報マインドが醸成され、市政情報の発信に反映されると考えます。

市ホームページがリニューアルされるこの機会に、攻めの広報に取り組んで頂きたいと思いますが、ご所見を伺います。

市長 とかく我がまちは、職員も市全体も受け身だったのではないかと思います。

一歩踏み込んで攻めることで結果が出れば、自信を深めることができると思います。今後、積極的にセールスしていけるよう努力してまいります。



全国学力・学習状況調査結果の 情報公開について問う

長谷川 光 議員 《新政いさま》

小学6年生と中学3年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査は、教育施策や教育指導内容の改善、学力向上に寄与するものと保護者や地域住民の関心も高く、大きな期待が寄せられています。

教育委員会・学校には、このような期待に応え調査結果を公表し、傾向分析や考察を行い、今後の教育課程や学習指導方法の改善について、保護者や地域住民に説明する責任があります。

本市は特に結果を公開していませんが、学力調査結果を積極的に情報提供することにより、保護者や地域からの建設的な助言や提案が期待でき

ます。

相互の信頼関係も強化され、結果的に全体的な学力向上に寄与すると思います。

教育長 平成25年度の結果については、教育委員会の判断に基づき市全体分は公開とし、各学校分は非公開としています。

それは国の方針であり、学校間の序列化と過度な競争をおおることや子供たちにストレスを感じさせることは避けなければならぬから

です。平成26年度の調査については、文科省が学校別も公開可能としたとの報道もあり、今後、国などの動向を見ながら教育委員会で協議していく必要があると考えています。

リニア中央新幹線は、ほとんどが地下を走り、神奈川県駅を相模原市橋本の地下約30mに設置する計画です。

座間の地下水は、橋本あたりから相模原台地の地下約20m以深の砂礫層を流れてきます。

JR東海が公表した環境影響評価準備書の地下水の項目を見ると、「地下駅直近の水位の変動量について三次元浸透流解析により予測を行ったところ、上流側で0・12m上昇、下流側で0・15m低下にとどまる」とのことです。

リニア中央新幹線による 座間の地下水への影響を問う

守谷 浩一 議員 《日本共産党》

果、私はトンネルによる地下水の影響を考慮せず地下駅だけの影響しか解析していないのではと考えます。

また、環境影響評価準備書に対する意見の概要には、地下トンネルで「みず道」ができ、地下水量を減らすと考察されるとい

う意見もあります。トンネル路線及び地下水位の位置関係図を示すことや、地下トンネル自体の地下水への影響を三

次元浸透流解析で分析するようJR東海に求めなくてはいい

のか、見解を伺います。



市議会議員による市職員への 政党機関紙の配布集金は心理的強制では

伊藤 優太 議員 《さま大志会》

市庁舎内は、政治的な中立性が守られるべきだ、というのが市民感覚です。

市議会議員が庁舎内で、市職員に対して政党機関紙の配布・集金を行っているという

声は市民から寄せられました。これが事実であるか、また、市庁舎の使用許可がされているのか伺います。

総務部長 事実ですが、特に許可申請をいただいていません。

【再質問】市議が市職員に政党機関紙の配布や集金を行うことは、政党や政治団体の活動に当たらないのか、ご認識を伺います。

また、この行為に対して、

購読の取りやめを言い出しにくいという声が私に実際に届いています。

購読の継続が強制されるような、心理的強制が働くのではないかと考えますが、その所見を伺います。

総務部長 議員は非常勤特別職の身分であり、配布・集金は常識的な範囲で行われていると思われま

す。その行為は議員の行う活動の一つで、庁舎管理規則で規定するものではないと考えます。

購読は職員個人の自由意思であり、政党への勧誘ではないので、政治活動とは捉えていません。

学校給食の米飯は自校炊飯で！

加藤 陽子 議員 《神奈川ネット》

本市の学校給食における米飯回数は、ここ数年で週3回となってきました。

しかし文科省は、週4回の目標を提起しています。

米飯の推進は自給率向上に寄与するとともに、子どもの肥満やアレルギー疾患がふえる現代においては、肉・油の多い傾向となる洋風メニューから伝統的な和風メニューをふやすことが求められており、進めるべきと考え

ます。また、完全米飯を実施する自治体もふえてきました。

本市では白米・おかず双方を作るには釜数が足りないため、週1回は自校炊飯による炊き込みご飯、2回は業者による委託炊飯となっています。

この委託業者で10月にはパンに、11月にはご飯に虫が混入する事故がありました。

県給食会による業者開拓もされていない中、安全な給食を実施するためには、場所をとらない縦型の炊飯器や教室に炊飯器を設置するなど工夫し、全

て自校炊飯をめざすべきと考えます。

米飯の委託方式とあわせて見解を伺います。

教育長 教室への炊飯器設置は、新たな人的配置が必要で現実的ではないと考えます。

現行の委託方式以外での米飯給食は、調理施設の形状や設備・食器の洗浄・煮沸消毒・保管などさまざまな問題点があり難しい状況です。

の委員 動員 き会

企画総務

▽議案第67号は、全員賛成で原案のとおり可決しました。

▽請願第2号、陳情第12号、第19号は5面参照

健康福祉

▽議案第73号、第85号以上2件は、全員賛成で原案のとおり可決しました。

▽議案第67号、第68号、第70号、第71号、第76号以上5件は、賛成多数で原案のとおり可決しました。

▽陳情第15号、第20号、第21号、第22号、第23号は5面参照

教育市民

▽議案第84号は、全員賛成で原案のとおり可決しました。

▽議案第74号は、全員賛成で原案のとおり可決しました。

(二部委員退席)
▽議案第67号は、賛成多数で原案のとおり可決しました。

▽陳情第18号は5面参照

都市環境

▽議案第75号、第77号、第83号以上8件は、全員賛成で原案のとおり可決しました。

▽議案第67号、第69号、第72号以上3件は、賛成多数で原案のとおり可決しました。

